

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は112.8となり、前年に比べ7.1%の上昇となった。

上昇した項目で代表的なものは、乳卵類（15.7%）、魚介類（14.1%）、油脂・調味料（10.5%）であった。

生鮮食品では、生鮮魚介（17.8%）、生鮮野菜（5.5%）及び生鮮果物（5.4%）がいずれも上昇したことにより、生鮮食品全体では9.4%の上昇となった。

図7 食料指数の月別の動き

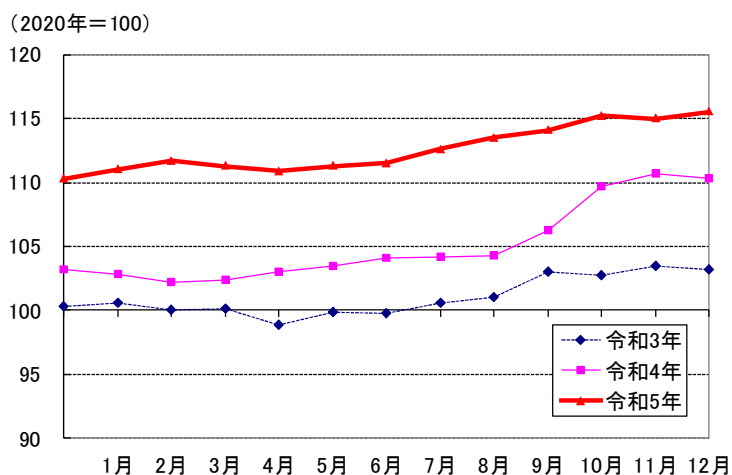


表4 食料の中分類別前年比の動き

中分類	前年比の動き (%)		
	3年	4年	5年
食料	1.1	4.1	7.1
穀類	3.9	7.9	5.9
魚介類	1.9	6.4	14.1
肉類	1.8	5.5	7.5
乳卵類	-1.1	3.2	15.7
野菜・海藻	-1.0	1.9	5.5
果物	5.2	4.0	5.4
油脂・調味料	-2.0	3.6	10.5
菓子類	2.3	5.7	10.1
調理食品	0.5	2.8	6.5
飲料	1.6	4.7	5.0
酒類	1.9	2.9	6.1
外食	0.0	2.0	1.7
生鮮食品	1.5	3.9	9.4
生鮮魚介	3.0	6.1	17.8
生鮮野菜	-2.0	1.8	5.5
生鮮果物	5.9	4.7	5.4

図8 生鮮食品指数の月別の動き

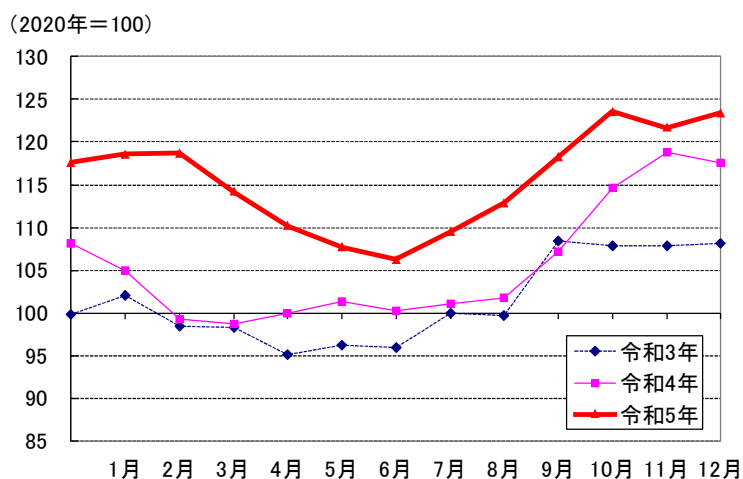


図9 生鮮魚介指数の月別の動き

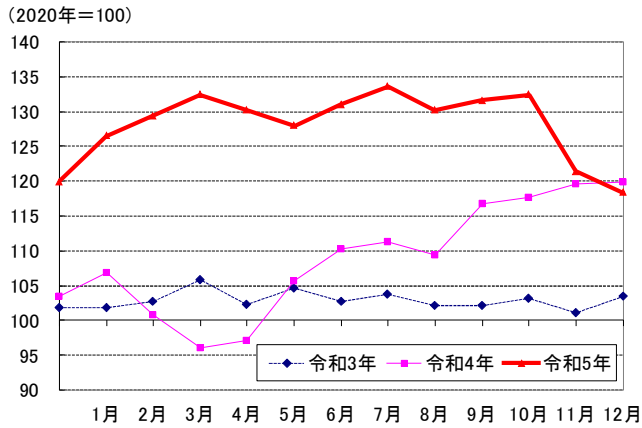


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

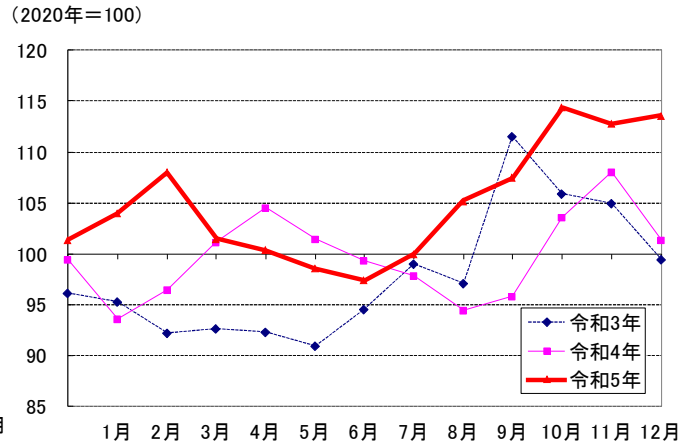
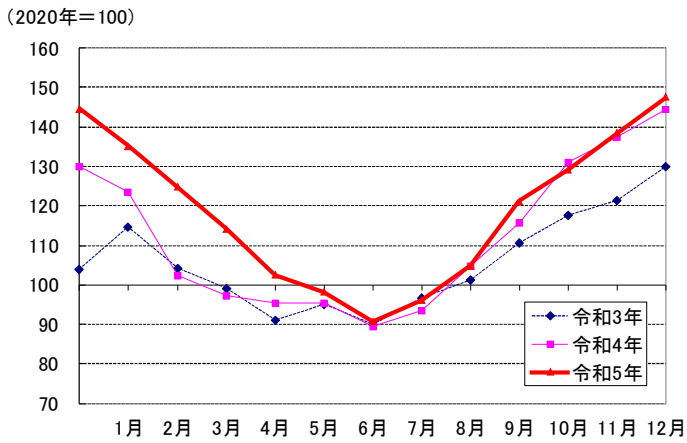


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は100.6となり、前年に比べ1.2%の上昇となった。

上昇した項目は、設備修繕・維持（6.2%）、家賃（0.1%）であった。

図12 住居指数の月別の動き

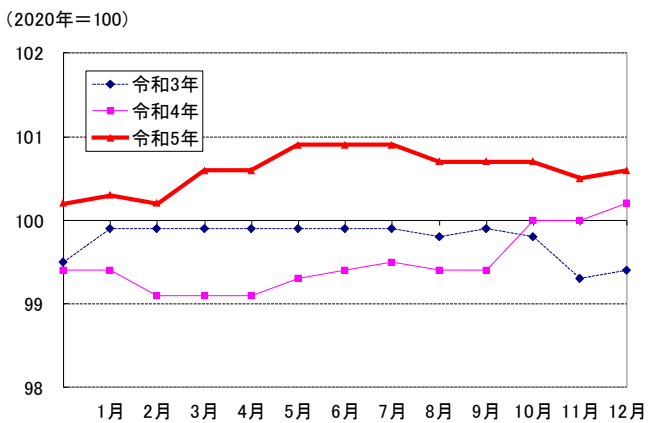


表5 住居の中分類別前年比の動き

中分類	（%）		
	3年	4年	5年
住居	-0.2	-0.3	1.2
家賃	-0.8	-0.8	0.1
設備修繕・維持	3.1	2.1	6.2
持家の帰属家賃を除く住居	1.4	1.0	4.1
持家の帰属家賃を除く家賃	-1.4	-1.0	0.3

2-3 光熱・水道

光熱・水道は99.3となり、前年に比べ10.7%の下落となった。

上昇した項目は、他の光熱（0.1%）であった。

一方、下落した項目は、電気代（18.5%）、ガス代（1.3%）であった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

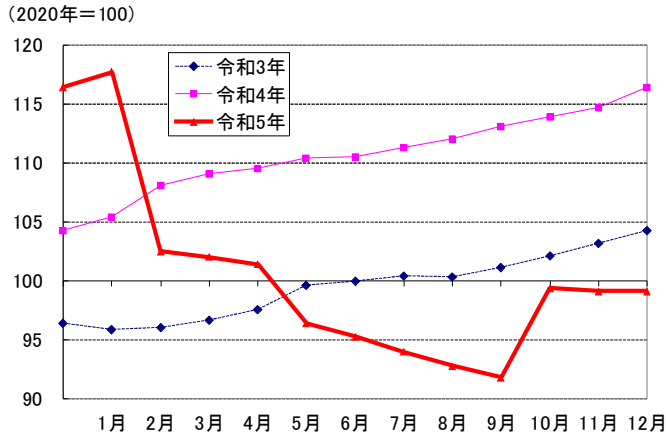


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き

中分類	前年比 (%)		
	3年	4年	5年
光熱・水道	-0.2	11.4	-10.7
電気代	-0.4	13.4	-18.5
ガス代	-1.3	19.5	-1.3
他の光熱	10.0	17.6	0.1
上下水道料	0.0	0.0	0.0

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は113.1となり、前年に比べ7.8%の上昇となった。

上昇した項目は、室内装備品（13.7%）、家事雑貨（11.8%）、家庭用耐久財（9.0%）、家事用消耗品（7.2%）、家事サービス（0.8%）であった。

一方、下落した項目は寝具類（-0.1%）であった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

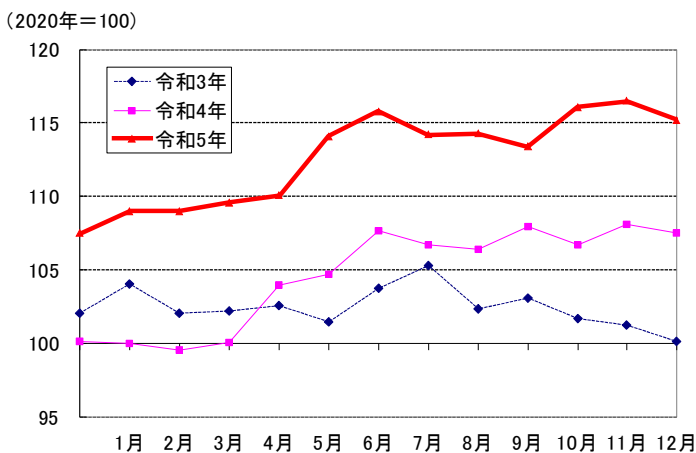


表7 家事・家具用品の中分類別前年比の動き

中分類	前年比 (%)		
	3年	4年	5年
家具・家事用品	2.5	2.4	7.8
家庭用耐久財	4.5	3.1	9.0
室内装備品	1.6	-0.3	13.7
寝具類	2.0	4.7	-0.1
家事雑貨	2.0	7.2	11.8
家事用消耗品	2.0	-1.3	7.2
家事サービス	0.0	1.6	0.8

2-5 被服及び履物

被服及び履物は106.4となり、前年に比べ4.5%の上昇となった。

上昇した項目は、シャツ・セーター・下着類 (8.9%)、履物類 (5.1%)、被服関連サービス (2.4%)、他の被服 (2.1%)、衣料 (1.7%) であった。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

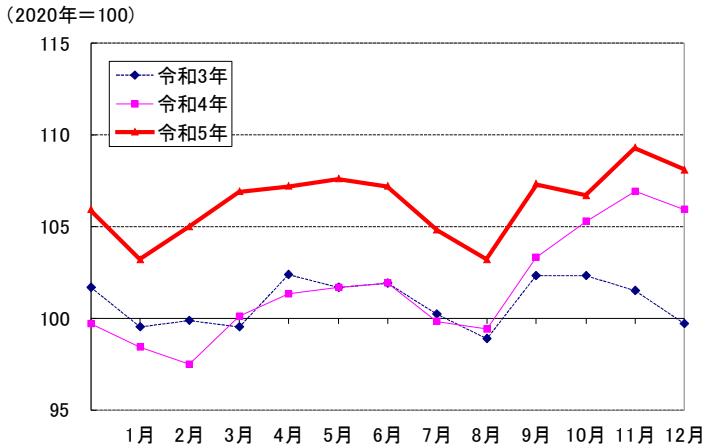


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き

中分類	前年比 (%)		
	3年	4年	5年
被服及び履物	0.8	1.0	4.5
衣料	1.1	-0.3	1.7
和服	-4.5	0.0	0.0
洋服	1.1	-0.3	1.7
シャツ・セーター・下着類	2.1	1.5	8.9
シャツ・セーター類	2.9	1.9	8.7
下着類	0.4	0.6	9.1
履物類	-3.9	2.0	5.1
他の被服	0.8	2.2	2.1
被服関連サービス	2.7	3.8	2.4

2-6 保健医療

保健医療は98.9となり、前年に比べ1.4%の上昇となった。

上昇した項目は、医薬品・健康保持用摂取品 (3.8%)、保健医療用品・器具 (3.2%) であった。一方、下落した項目は、保健医療サービス (-0.1%) であった。

図16 保健医療指数の月別の動き

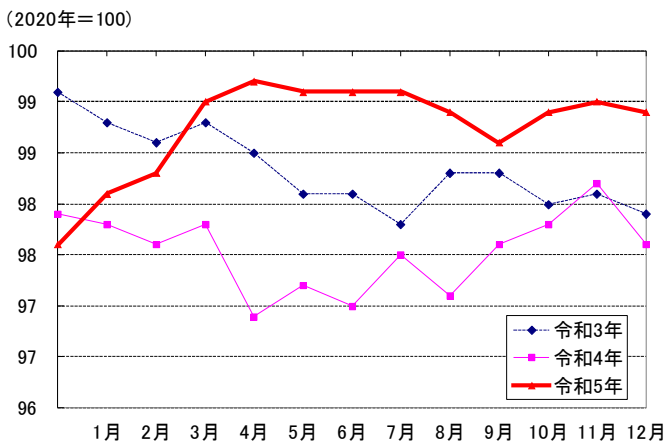


表9 保健医療の中分類別前年比の動き

中分類	前年比 (%)		
	3年	4年	5年
保健医療	-1.7	-0.8	1.4
医薬品・健康保持用摂取品	-0.4	0.4	3.8
保健医療用品・器具	-6.8	-0.7	3.2
保健医療サービス	-0.8	-1.3	-0.1

2-7 交通・通信

交通・通信は92.9となり、前年に比べ1.9%の上昇となった。
 上昇した項目は、通信（6.3%）、交通（2.3%）であった。
 自動車等関係費は、同水準であった。

図17 交通・通信指数の月別の動き

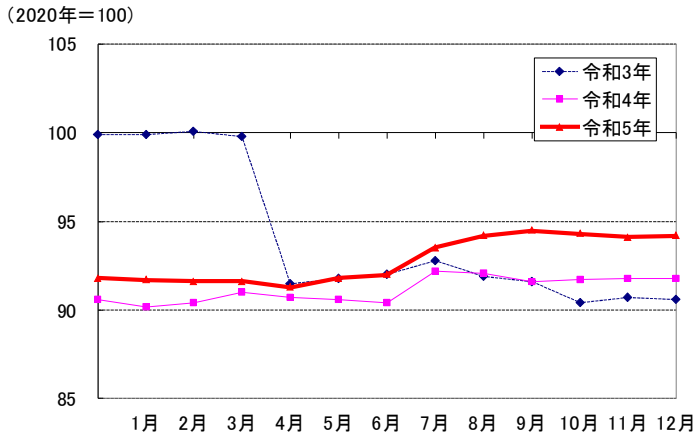


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き

中分類	前年比の動き (%)		
	3年	4年	5年
交通・通信	-6.4	-2.5	1.9
交通	0.5	-0.4	2.3
自動車等関係費	2.0	2.1	0.0
通信	-21.9	-13.1	6.3

2-8 教育

教育は102.3となり、前年に比べ2.2%の上昇となった。
 上昇した項目は、補習教育（5.7%）、教科書・学習参考教材（1.2%）、授業料等（0.5%）であった。

図18 教育指数の月別の動き

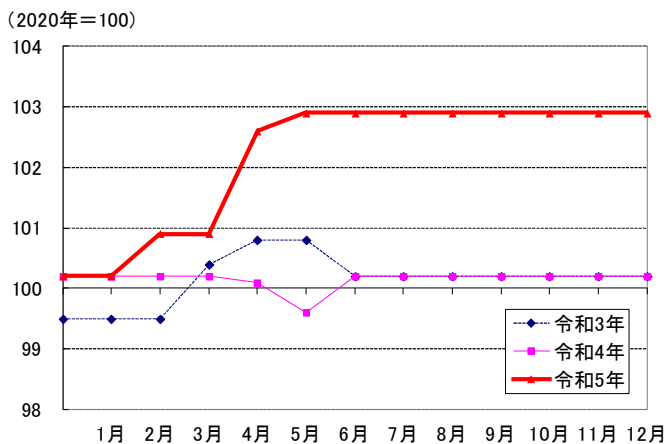


表11 教育の中分類別前年比の動き

中分類	前年比の動き (%)		
	3年	4年	5年
教育	0.2	-0.1	2.2
授業料等	-1.3	-0.5	0.5
教科書・学習参考教材	0.2	3.1	1.2
補習教育	3.5	0.7	5.7

2-9 教養娯楽

教養娯楽は106.2となり、3.5%の上昇となった。

上昇した項目は、教養娯楽用品（5.1%）、書籍・他の印刷物（4.9%）、教養娯楽サービス（2.7%）、教養娯楽用耐久財（2.1%）であった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

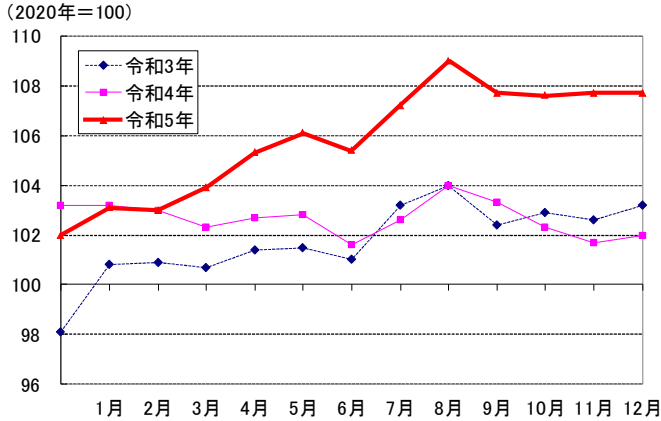


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

中分類	前年比 (%)		
	3年	4年	5年
教養娯楽	2.1	0.5	3.5
教養娯楽用耐久財	-2.5	4.3	2.1
教養娯楽用品	2.6	-0.6	5.1
書籍・他の印刷物	1.8	1.9	4.9
教養娯楽サービス	2.5	0.2	2.7

2-10 諸雑費

諸雑費は102.4となり、前年に比べ1.5%の上昇となった。

上昇した項目は、身の回り用品（11.6%）、他の諸雑費（0.9%）、理美容サービス（0.6%）、たばこ（0.5%）であった。

一方、下落した項目は、理美容用品（-0.4%）であった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

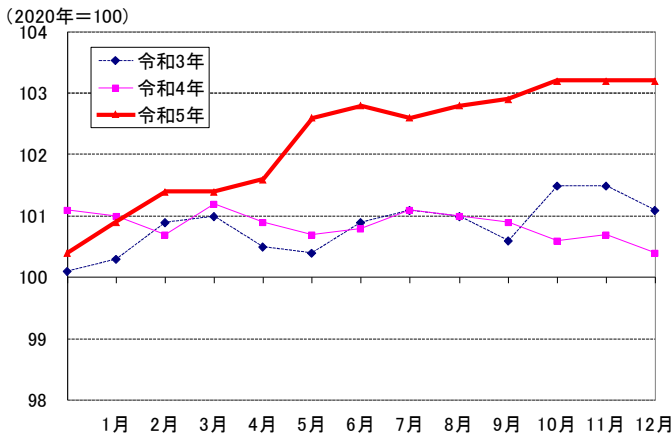


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

中分類	前年比 (%)		
	3年	4年	5年
諸雑費	0.9	-0.1	1.5
理美容サービス	0.1	0.3	0.6
理美容用品	-0.3	-0.5	-0.4
身の回り用品	-2.3	-0.5	11.6
たばこ	8.5	4.8	0.5
他の諸雑費	1.6	-0.8	0.9